

## 平成26年度 大阪府感染症発生動向審議会

■日時：平成26年7月9日（水）午後2時から午後4時まで

■場所：大阪市立環境科学研究所 2階会議室

■出席者（大阪府委員）：

氏名	所属
大原 裕彦	大阪泌尿器科臨床医会
河合 修三	大阪府皮膚科医会
児玉 光正	大阪泌尿器科臨床医会
澤田 益臣	大阪産婦人科医会
塩見 正司	大阪府医師会
高橋 和郎	大阪府立公衆衛生研究所
田口 眞澄	大阪府立公衆衛生研究所
田邊 雅章	大阪府健康医療部
中尾 正俊	大阪府医師会
東野 博彦	大阪府医師会
松本 淳	大阪府医師会
松本 治子	大阪府健康医療部
宮浦 徹	大阪府眼科医会
三宅 眞実	大阪府立大学大学院
宮園 将哉	大阪府保健所長会
八木 由奈	大阪小児科医会
吉田 英樹	大阪市保健所兼西成区役所

■欠席者（大阪府委員）：

氏名	所属
大里 和久	大里クリニック
中尾 正俊	大阪府医師会

### ■会議の成立

本会議は「大阪府感染症発生動向審議会規則」第5条第2項に規定される定足数（委員の過半数）を満たしており有効に成立している。（委員数：19名 出席者17名 欠席者2名）

### ■会議の内容

#### ○会長選任

高橋委員が会長に選任された。

#### ○会議の公開

本会は公開とする。

## ■議題「平成 25 年感染症発生動向調査事業報告」

平成 25 年の大阪府全域における感染症発生動向について各資料に沿って報告及び質疑応答。

### 1. 患者情報について

#### ア) 定点把握感染症について

##### ・手足口病について

手足口病については、水痘様の強い発疹で広範囲ななどの症状、特に口周りの発疹等  
コクサッキー A6 型との鑑別に困難な例があった。また、この例では爪の脱落はみられ  
なかったが、昨年度は爪の脱落がみられる症例が多かった。

##### ・水痘ワクチンについて

平成 26 年 10 月に水痘ワクチンが定期接種となり、1 歳から原則 2 回接種というド  
イツ方式が採用され、水痘の症例数が減少すると予想される。

#### イ) 性感染症について

- ・大阪 SPI 研究会は、大阪産婦人科医会と合同で、若年者に対して性感染症に関する啓発  
を行なっている。

#### ウ) 一類～五類全数把握感染症について

##### ・腸管出血性大腸菌について

腸管出血性大腸菌の発生届出数のうち、HUS の発症例は 10 例 6.8%であった。

##### ・風しんについて

風しんの発生届出数は 3,198 例の届出があり、前年の 410 例に比べて 680%の増加  
であり、麻しんは 15 例の届出があり、前年の 11 例に比べて 275%の増加であった。

##### ・全国の平成 25 年における四類・五類感染症の届出数について

全国の平成 25 年における四類・五類感染症の届出数において、増加した主な疾患は、  
四類感染症では、レジオネラ症、デング熱、ライム病であり、五類感染症では、風し  
ん、梅毒、ウイルス性肝炎であった。

##### ・侵襲性肺炎球菌感染症及び侵襲性インフルエンザ感染症の菌株について

大阪府立公衆衛生研究所は、厚生労働省の流行予測調査会の一環として、侵襲性肺  
炎球菌感染症及び侵襲性インフルエンザ感染症の届出があった場合、当該感染症起因  
菌の菌株を収集しており、血清型と薬剤感受性試験を検査している。

### 2. 検査情報について

#### ア) ウイルス検査情報について

- ・ウイルスの陽性検体数は検体総数 2,606 件のうちの 1,465 件、ウイルス検出総数は 1,507  
件であった。ウイルス検体総数は、平成 24 年の 2,440 件に比べて 6.8%増加したことも  
あり、平成 24 年の検出総数 1,390 件に比べて 8.4%増加した。

#### イ) 細菌検査情報について

- ・細菌検査情報では HUS 患者は 9 名の報告だが、全数把握感染症では 10 名と報告されて  
おり、届出後に重症化し HUS と診断されたかもしれないため、調べさせていただく。